

白山ろくテーマパーク 中期経営目標

(実施期間 平成27年度～平成29年度)

平成27年3月 策定

1 施設の設置目的

都市公園は、緑のオープンスペースによる都市環境の維持・向上を図るとともに、県民の利用に供することにより、公共の福祉の増進に寄与することを目的としています。

2 施設の果たすべき役割

白山ろくテーマパークは、県を代表する豊かな自然、歴史、文化資源に恵まれた白山ろくの玄関口に位置し、白山の眺望や手取川・大日川の清流、田園風景という優れた環境に囲まれた広域公園です。吉岡地区は、公園センターを核に芝生広場や大花壇、ロックガーデンなどが整備され、吉野地区はオートキャンプ場、大巻どんと橋などが整備され、県内外からの多くの方々に利用されています。

本公園は、健康運動、休息、自然観察といった、県民の多様なレクリエーション需要に応えることを役割としています。

3 事業内容

(1) 良好な景観や環境の保全・創出

園地や施設の整備と良好な管理により、周囲の自然景観と調和した、緑豊かな快い環境を創出します。

(2) 野外におけるレクリエーション活動の場の提供

散策やウォーキングなどのスポーツ活動、バーベキューやキャンプの場を提供します。

(3) 自然体験・学習の場の提供

樹林地を活用し、自然観察や星空観察など野外学習の場を提供します。

(4) 県民参加による交流の場

公園内で開催されるイベントへの参加などを通じた交流の場を提供します。

4 現状と課題

(1) 管理運営体制について

・白山ろくテーマパークでは、民間のノウハウを活用して、施設を効率的・効果的に管理するため、指定管理者制度を平成18年度から導入しています。

・公園利用者に対する利便の提供、利用の促進、利用施設・設備、備品及び植栽等の維持管理及び修繕に関する業務などは指定管理者が行っており、当中期経営目標の実

施期間である平成27年度から平成29年度までは、「株式会社 岸グリーンサービス」を指定管理者として指定しています。

- ・県では、利用状況や利用者からのご意見、小修繕の実施状況などの管理状況について、指定管理者より定期的に報告を受け、運営指導や財政支援を行うなど、適正な管理・運営に努めています。

- ・県は、指定管理者と調整し、老朽化した施設の更新・修繕などを実施しており、今後とも取り組みを充実させる必要があります。

(2) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上について

- ・都市公園の管理にあたっては、「安全・清潔で美しい空間づくり」を基本とし、芝生の刈り込み、樹木の剪定、害虫の防除などの維持管理作業を計画的かつ状況に応じて実施し、緑地環境の維持向上、来園者に気持ちよく利用していただける環境づくりに努めるとともに、利用者の増大や交流につながるイベントの開催などに努めています。今後も、これまでの実績を活かしつつ、さらに効率的、効果的な手法を研究し、取り組んでいく必要があります。

- ・白山ろくテーマパークでは、公園管理センター内での各種教室などのイベントやカフェの運営、オートキャンプ場での食材やキャンプ用品の販売など、指定管理者による自主事業を積極的に行っています。

- ・特に、オートキャンプ場は、平成24年10月に社団法人日本オートキャンプ協会による3星認定を受けており、県内外からの多くの方々に利用されています。

- ・今後も、本公園の最大の特徴である自然環境を活かし、県民の多様なニーズへの対応やサービスの向上を図っていく必要があります。

- ・広報活動として、ホームページの開設や各種マスメディアを活用した情報発信を行っており、今後とも情報発信の充実を努めていく必要があります。

- ・県民参加型の公園として、より活性化していくためには、地域や関係機関、ボランティア等との連携を促進することが求められ、それに向けた取り組みを進めていく必要があります。

(3) 施設運営の効率化について

- ・県と指定管理者間で連絡体制を確立し、常に情報を共有するなど、非常時にも即時対応できるよう連携を図り、迅速かつ効率的な施設運営を行っています。

- ・今後とも、指定管理者の創意工夫に基づいた管理運営により、質の高いサービスを公園利用者に提供するとともに、管理経費の削減に努める必要があります。

5 中期経営目標

(1) 中期経営目標（指定管理者が実現すべき目標）

- ①利用者数を3年間で10%増加させます。
- ②利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

(2) 測定指標と目標値

測定指標		H25実績値	目標値(H29)
①利用者数		53,734人	61,000人
②利用者アンケートにおける満足度	利用者サービス	100%	95%以上
	施設の維持・管理	100%	95%以上

6 指定管理者が設定した目標達成に向けた具体的な取組内容

(1) 施設の利用促進及びサービス(満足度)向上に向けた取り組み

① 利用促進に向けた取り組み

- ・吉岡園地では、季節ごとの公園の魅力やエリアごとの特色を活用して積極的に様々な自主事業を実施し、利用促進を図ります。
- ・河内ふじ祭りや魅力ある体験教室、ネイチャーウォークラリー、写真コンテスト、お出迎え花壇・大花壇の花植え、カフェの運営、パークウエディング事業、地元農家の野菜販売などを実施します。
- ・ロックガーデンでは白山麓の自然を表現するために、宿根草の植栽を進めていきます。更に石川県自然保護センターと協力し、県指定絶滅危惧種であるオキナグサの保護活動を行います。
- ・吉野園地のオートキャンプ場では、平日の利用を促進するため、引き続き、利用料金の割引を行います。また、夏休みには宿泊者対象にしたネイチャープログラムの実施や子ども対象にしたイワナつかみ取りなどのイベントを実施し、さらなる誘客に努めます。
- ・バリアフリーに配慮して作られたキャンプ場であるため、日頃アウトドアシーンを体験できないハンディキャップを持つ方々にも安心して利用してもらうように、PRしていきます。
- ・利用促進を図るため、積極的に県内の教育機関（幼稚園、保育所、小学校、中学校）や町内会、各種団体等に働きかけていきます。
- ・周辺地域や地元商工会、学生等と公園の利用促進に向けた取組について話し合う会議を定期的で開催し、連携協働して公園の利用促進に取り組んでいきます。

- ・イベントの告知や四季折々の風景の掲載、ブログ形式によるリアルタイムな情報提供などによりホームページの充実を図り、雑誌、テレビや新聞なども活用し公園の魅力の発信を行います。

②利用者サービスの向上に向けた取り組み

- ・適切な接遇ができるよう、徹底したスタッフ教育を実施します。
- ・バーベキュー時の地元食材のケータリング仲介サービスや、アウトドアグッズの販売などの実施により利用者の増加に努めます。
- ・手ぶらで来園しても楽しめるように、スポーツ用品や遊具の貸し出しを行います。
- ・利用者の声を、利用者からの聞き取りやアンケート、インターネット等により幅広く収集し、管理に反映します。苦情・要望への回答は、施設内への掲示の他、ホームページで公表します。

(2)施設運営の効率化に向けた取り組み

- ・利用料収入や自主事業収入を伸ばし、計画的な施設の維持補修を行い、快適性の向上を図ります。
- ・オートサイトでは予約が最大に達しお断りをしている日が多いため、受入数を増やすため、遊休地を利用したサイトの拡大を検討します。
- ・ゴミの分別を啓発するため、分別ボックスにポスターを掲示するなど、資源のリサイクルや廃棄物の減量化に取り組み、環境に配慮した管理を行います。
- ・インターネットを利用したオートキャンプ場施設の予約を継続し、利用者サービスの向上と事務の合理化を行っていきます。

参考資料(施設の利用状況など)

(1)利用者数

項目	H23	H24	H25
利用者数	44,521 人	42,636 人	53,734 人

(2)有料施設の利用状況と収入の実績

オートキャンプサイト

H23		H24		H25	
利用件数	収入	利用件数	収入	利用件数	収入
1,517 件	1,615 千円	2,047 件	2,126 千円	2,407 件	2,743 千円

フリーテントサイト

H23		H24		H25	
利用件数	収入	利用件数	収入	利用件数	収入
2,094 件	645 千円	2,643 件	938 千円	2,673 件	1,053 千円

バーベキュー場

H23		H24		H25	
利用件数	収入	利用件数	収入	利用件数	収入
5,225 件	1,290 千円	5,797 件	1,649 千円	5,759 件	1,698 千円

温水シャワー

H23		H24		H25	
利用件数	収入	利用件数	収入	利用件数	収入
件	142 千円	件	15 千円	件	28 千円